

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	やいた花火大会	総事業費					11,473,563	11,473,563
		うち市町支出額					3,508,243	3,508,243
		うち県交付金					1,500,000	1,500,000
2	やいたふるさとまつり	総事業費					9,563,000	9,563,000
		うち市町支出額					1,000,000	1,000,000
		うち県交付金					500,000	500,000
3	片岡地区活性化推進事業	総事業費					830,389	830,389
		うち市町支出額					800,000	800,000
		うち県交付金					400,000	400,000
4	青年交流促進事業	総事業費					0	0
		うち市町支出額					0	0
		うち県交付金					0	0
5	たかはらやまトライアスロン大会支援事業	総事業費				3,317,000	4,133,605	7,450,605
		うち市町支出額				500,000	500,000	1,000,000
		うち県交付金				250,000	250,000	500,000
6	生涯学習フェスティバル開催事業	総事業費				1,500,251	2,359,632	3,859,883
		うち市町支出額				1,500,000	2,000,000	3,500,000
		うち県交付金				628,737	919,000	1,547,737
7	女性活躍推進事業	総事業費				236,165	291,226	527,391
		うち市町支出額				180,000	180,000	360,000
		うち県交付金				90,000	90,000	180,000
8	スポーツフェスティバル開催事業	総事業費				2,000,258	1,771,086	3,771,344
		うち市町支出額				2,000,000	1,500,000	3,500,000
		うち県交付金				500,000	672,395	1,172,395
9	川崎城跡公園周辺地域再生事業	総事業費		427,679	392,762	443,845	370,000	1,634,286
		うち市町支出額		270,000	270,000	270,000	270,000	1,080,000
		うち県交付金		135,000	108,082	135,000		378,082
10	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業	総事業費	1,622,031	2,948,042	3,204,613	3,000,000	3,000,000	13,774,686
		うち市町支出額	1,287,825	2,290,057	2,357,985	2,300,000	2,300,000	10,535,867
		うち県交付金	342,913	525,000	525,000			1,392,913
11	HAPPY HAPPO Project 推進事業	総事業費	1,022,511	691,428	787,939	800,000	800,000	4,101,878
		うち市町支出額	875,000	691,423	747,927	800,000	800,000	3,914,350
		うち県交付金	430,500	325,708	373,963			1,130,171
12	矢板駅前イルミネーション事業	総事業費	1,041,402	996,095	806,361	950,000	950,000	4,743,858
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,000,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000			1,200,000
13	高校生まちづくり活動事業	総事業費	133,440	178,250	891,771	120,000	120,000	1,443,461
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000			150,000
14	ともなり文芸祭り	総事業費	1,114,627	902,040	542,510	550,000	550,000	3,659,177
		うち市町支出額	1,000,000	830,000	500,000	500,000	500,000	3,330,000
		うち県交付金	500,000	415,000	250,000			1,165,000
15	片岡駅前イルミネーション事業	総事業費	795,243	524,511	514,616	501,000	501,000	2,836,370
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000	250,000			750,000
市町計		総事業費	5,729,254	6,668,045	7,140,572	13,418,519	36,713,501	69,669,891
		うち市町支出額	4,562,825	5,481,480	5,275,912	9,450,000	14,758,243	39,528,460
		うち県交付金	1,973,413	2,100,708	1,957,045	1,603,737	4,331,395	11,966,298

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	やいた花火大会
事業主体の名称	やいた花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 千野根 友和
事業主体の所在	〒329-2164 矢板市扇町1丁目2 番7号
事業主体の概要	・団体の目的:市民力の具現化による地域社会の活性化を目指すこと及び観光客誘致と地域知名度の向上による地場産業への経済効果を生み出すことを目的とする。 ・設立年月日:平成19年6月29日 ・構成員等:矢板市商工会及び企業・団体等
当該事業に係る地域の現状と課題	・本市は矢板駅周辺を中心市街地に据え、駅東側について都市再生整備事業を実施するなど地域の活性化を図っている。 ・今後、さらなる人口減少に直面することが予想される中、中心市街地の活性化・活力の維持を図っていくため、市民活動団体や地域、企業等が連携し、まちづくりの相乗効果を生み出しながら、本市の魅力を向上させる必要がある。 ・令和6年度は警備費や花火代の高騰に起因し予算確保が難しかったほか、交通渋滞対策等が求められ、中止とした。
事業目的	・本市を拠点として活動する市民活動団体や地域、企業等との連携の下、交流事業を行うことにより、中心市街地への集客、市内外からの観光誘客等による消費拡大等、地域の活性化・地方創生の実現を図る。 ・開催場所や開催方法を刷新することで、これまでとは異なる新たな花火大会を体感してもらい、市民プライド醸成の一助となる。 ・市外からの参加者については、これらの体験や地域の人々との交流等を通して感じた本市の魅力をSNSでの発信に協力していただくことで関係人口の創出を図る。
事業概要	【開催日時・場所】 令和7年12月13日(土)17:30花火打上開始・矢板市城の湯やすらぎの里 【内容】 ・花火5,000発、ほか出店等 ・観覧15,000人 ・市内外へ周知できるよう広報を強化 【関係人口の分類型】I-a、I-d 県内外問わず多くの協賛者、ボランティアを募り、本事業を介した関係人口の創出を図った。 【翌年度以降の取組】 花火大会を矢板市の「ブランド」として広く普及するため、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【矢板市総合戦略】 ・基本目標「来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる」 ・基本的方向「交流人口、関係人口の創出・拡大」 【数値目標】 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7) 【KPI】道の駅利用者数 122万人(R2) ⇒ 129万人(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			やいた花火大会の実施 ○企画委員会ごとの事業実施 ○市内団体の催し物 ○アンケートの実施		やいた花火大会2026の実施 ○企画委員会ごとの事業実施 ○市内団体の催し物 ○アンケートの実施
事業費			11,378,897	11,378,897	10,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)			3,508,243	3,508,243	3,000,000
うち県交付金			1,500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	0	0
うち県交付金			0	0	
その他自主財源等	0	0	7,870,654	7,870,654	7,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	やいた花火大会	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
自主財源	7,273,479	事業協賛金、売店出店料、預金利息等
補助金	3,508,243	市補助金(うち協賛事業による寄付金508,243円)
繰越金	691,841	
計	11,473,563	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	5,405,514	2,510,000	1,255,000	3,275,514	花火代、作業用消耗品等
役務費					
手数料	386,976			6,976	事務委託手数料、振込手数料等
通信運搬費	194,727	190,000	95,000	4,727	電話料、各種文書郵送費
保険料	115,820	100,000	50,000	15,820	賠償責任保険、傷害保険
委託料	2,731,824	508,243		2,223,581	交通警備費、開催ポスターチラシ制作委託等
使用料及び賃借料	201,136	200,000	100,000	1,136	会議場所の賃借等
工事請負費	2,342,900			2,342,900	会場電気設備工事等
繰越金	94,666			94,666	
計	11,473,563	3,508,243	1,500,000	7,965,320	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	やいたふるさとまつり
事業主体の名称	やいたふるさとまつり実行委員会
代表者の名称	会長 漆原 邦和
事業主体の所在	〒329-2164 矢板市本町4番29号
事業主体の概要	・団体の目的: 令和6年に7年ぶりに復活したふるさとまつりを契機として、矢板市及び周辺地域の多様な主体の力を結集し、活力ある地域をつくり、未来のこどもたちへ希望を持てる笑顔あふれる地域の実現を目指す。 ・設立年月日: 令和6年4月1日 ・構成員等: 活動の趣旨に賛同する企業・団体等
当該事業に係る地域の現状と課題	・本市は矢板駅周辺を中心市街地に据え、駅東側について都市再生整備事業を実施するなど地域の活性化を図っている。 ・今後、さらなる人口減少に直面することが予想される中、中心市街地の活性化・活力の維持を図っていくため、市民活動団体や地域、企業等が連携し、まちづくりの相乗効果を生み出しながら、本市の魅力を向上させる必要がある。
事業目的	・本市を拠点として活動する市民活動団体や地域、企業等との連携の下、交流事業を行うことにより、中心市街地への集客、市内外からの観光誘客等による消費拡大等、地域の活性化・地方創生の実現を図る。 ・各種体験イベントに参加いただくことで、地域に対する愛着が深まり、市の持つ魅力を市内外に発信していくとする意識の醸成が図られることを目的とする。 ・市外からの参加者については、これらの体験や地域の人々との交流等を通して感じた本市の魅力をSNSでの発信に協力していただくことで関係人口の創出を図る。
事業概要	【開催日時・場所】 令和7年8月11日(月・祝)長峰公園 【内容】 ・企画委員会ごとの事業実施 ・市内団体の催し物 ・アンケートの実施 ・一般来場者45,000人 ・高校生団体が実行委員会に関わり、若者の関心を集めることで、若年層のさらなる集客を目指した。 ・市内外へ周知できるよう広報を強化 【関係人口の分類型】I-a、I-d ・県内外問わず多くの参加者を募集するとともに、若者のボランティア意識向上も兼ね、将来のまちづくりの担い手となる中高生等のボランティアへの参加を募集しイベントを開催したことで、本事業を介した関係人口の創出が図られた。 【翌年度以降の取組】 「繋がる」をテーマに、より広い人々と関係を築くことができるようなイベント運営を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【矢板市総合戦略】 ・基本目標「来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる」 ・基本的方向「交流人口、関係人口の創出・拡大」 【数値目標】1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7) 【KPI】道の駅利用者数 122万人(R2) ⇒ 129万人(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位: 円)

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			やいたふるさとまつり 2025の実施 ○企画委員会ごとの事業 実施 ○市内団体の催し物 ○アンケートの実施		やいたふるさとまつり 2026の実施 ○企画委員会ごとの事業 実施 ○市内団体の催し物 ○アンケートの実施
事業費			9,486,465	9,486,465	8,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)			1,000,000	1,000,000	1,000,000
うち県交付金			500,000	500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	8,486,465	8,486,465	7,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	やいたふるさとまつり	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,000,000	市補助金
広告料収益	8,448,000	協賛金及び出店料
販売収益	115,000	
計	9,563,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	7,276,571			7,276,571	会場設営費、企画・演出費
広告費	671,637	650,000	325,000	21,637	
保険料	523,804	350,000	175,000	173,804	
消耗品費	1,014,453			1,014,453	
繰越金	76,535			76,535	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	9,563,000	1,000,000	500,000	8,563,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	片岡地区活性化推進事業
事業主体の名称	KATAOKA BASE
代表者の名称	会長 漆原邦和
事業主体の所在	〒329-1571 矢板市片岡1193-1
事業主体の概要	・団体の目的:様々なイベントを通して地域のコミュニティを形成し、世代関係なくあたたかくてみんながほっこりするようなまちづくりに貢献する。片岡地域全体が参加できるような活動を通して片岡地域コミュニティの輪を広げる。 ・設立年月日:令和5年10月1日 ・構成員等:30代～40代の子育て世代を中心とした片岡地域住民で構成
当該事業に係る地域の現状と課題	これまでの片岡地区は行政区が中心として地域自治を担っていたが、担い手の人材不足や少子高齢化が加速する中で、自治会離れが浮き彫りとなり、特に子育て世代が地域自治に参加しないという現象が課題となっている。
事業目的	片岡地区の中心部である片岡駅前にイルミネーションを灯し、魅力的な景観やまちの賑わいを創出し、地域活性化を図るとともに、夏祭りを通して日本の伝統文化に慣れ親しみ、地域の交流の活性化を図り、分断してしまった地域自治を、再び繋げ、大きな輪にすることを目的とする。
事業概要	【1】かたおか夏祭り【I-a】 場所:矢板市片岡公民館 期日:令和7年8月2日(土) 内容:盆踊り、お囃子発表会、じゃんけん大会、花火大会等 【2】片岡地区御囃子教室【I-a】 場所:矢板市片岡公民館 期日:令和7年7月6日、13日、20日、27日 計4回 内容:秋鵬民謡会を講師に迎え、片岡地区の親子がお囃子を体験し、かたおか夏祭りにて発表した。 【3】片岡駅前イルミネーション事業【I-a、I-d】 場所:JR片岡駅西口ロータリー 点灯期間:令和7年12月6日～令和8年2月13日 イルミネーション点灯式:令和7年12月6日15:00～20:00 地元保育園児の合唱やじゃんけん大会等
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	目標:来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 数値目標:交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7) KPI:道の駅利用者数 122万人(R2) ⇒ 129万人(R7) 目標:安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる 数値目標I:地域活動への参加状況(%) 40.9(R1)⇒50.0(R7) KPI:市民協働のまちづくり事例数 10団体(H28～R2)⇒14団体(R3～R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)
	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			○かたおか夏祭り ○片岡地区御囃子教室 ○片岡駅前イルミネーション事業		○かたおか夏祭り ○片岡地域交流促進事業 ○片岡駅前イルミネーション事業
事業費			830,389	830,389	1,100,000
市町支出金 (ソフト事業分)			800,000	800,000	400,000
うち県交付金			400,000	400,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	30,389	30,389	700,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	片岡地区活性化推進事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	800,000	
雑収入	30,389	
計	830,389	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	14,510	0	0	14,510	DJ謝金、出演者への謝礼用菓子代
消耗品費	490,649	490,000	245,000	649	イルミネーション用品、事務用品、衛生用品代、宣伝Tシャツ等
印刷製本費	58,520	58,000	29,000	520	ポスター、チラシ印刷代等
保険料	18,110	4,000	2,000	14,110	イベント保険等
委託料	248,600	248,000	124,000	600	イルミ設置、警備委託料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	830,389	800,000	400,000	30,389	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	たかはらやまトライアスロン大会支援事業
事業主体の名称	一般社団法人 栃木県トライアスロン協会
代表者の名称	理事長 櫻井 潤一郎
事業主体の所在	〒324-0036 大田原市下石上1313
事業主体の概要	・団体の目的:日本トライアスロン連合の加盟団体として、栃木県におけるトライアスロンの健全な普及発展を図るとともに、トライアスロンに関するスポーツを楽しむアスリート相互の親睦を図ることを目的とする。 ・設立年月日:1995年3月19日 ・構成員等:理事23名
当該事業に係る地域の現状と課題	たかはらやまトライアスロン大会は、地元青年会議所が平成5年に第1回大会を開催して以来、令和元年の第27回大会まで好評の中開催された大会であるが、令和元年1月に始まる新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当大会も中止を余儀なくされてしまっていた。令和6年8月に5年ぶりに復活し、2025大会には、174名の鉄人たちの参加を受け無事終了した。
事業目的	現在栃木県内には、オリンピックディスタンス競技(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)は、開催されていない。専門誌のアンケートにおいては、そのおもてなし度が、数ある有名大会を押さえ第1位にランクされた実績を有している当該大会を、今年度も一般社団法人栃木県トライアスロン協会の主催として継続開催するものである。全国から参加される「鉄人」の皆さんに矢板市の良さをアピールし、再度の来訪を期待する。必要物品を、市内で調達する。
事業概要	【令和7年度】【I-d】 ・トライアスロンオリンピックディスタンス及びスプリントディスタンス競技を開催した。 (参加人数オリンピックディスタンス競技 107名、スプリントディスタンス競技 67名、役員及びボランティア 約150名) ・参加者及びボランティア募集にSNSを駆使した。 ・地元高校生のボランティア参加の機会を創出した。 ・必要物品の大部分を市内で調達し、及び温泉券の配布により、大会終了後の市内周遊を促した。 【令和8年度以降】 ・トライアスロンオリンピックディスタンス及びスプリントディスタンスに加え、スーパースプリントディスタンスコースを新設し、参加の門戸を広げる。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	目標:来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 数値目標:交流人口数(人)1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7) KPI:スポーツ交流人口 170,763人(R2)⇒250,000人(R7) スポーツツーリズムによる経済波及効果 14億168万円(R2)⇒21億2,500万円(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達	①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達		①トライアスロン大会の開催 ②市内宿泊施設への宿泊案内 ③市特産物の活用 ④市内業者からの優先物品調達
事業費		3,317,000	4,133,605	7,450,605	4,800,000
市町支出金 (ソフト事業分)		500,000	500,000	1,000,000	500,000
うち県交付金		250,000	250,000	500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	2,817,000	3,633,605	6,450,605	4,300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	たかはらやまトライアスロン大会支援事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
大会参加料	3,252,000	大会参加料
補助金	500,000	市補助金
協賛金	60,000	協賛金
協会負担金	200,000	栃木県トライアスロン協会負担金
自己資金	121,605	
計	4,133,605	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	511,000	500,000	250,000	11,000	審判報償費
消耗品費	1,048,449			1,048,449	選手・ボランティア参加賞
食糧費	806,575			806,575	選手・ボランティア昼食費
印刷製本費	127,045			127,045	大会ポスター・パンフレット印刷費
保険料	173,518			173,518	選手・ボランティア保険料
委託料	1,206,788			1,206,788	タイム計測、会場設営費
使用料及び賃借料	260,230			260,230	会場使用料
				0	
				0	
				0	
計	4,133,605	500,000	250,000	3,633,605	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号ー5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	生涯学習フェスティバル開催事業
事業主体の名称	矢板市生涯学習フェスティバル実行委員会
代表者の名称	会長 渡邊 陽茉莉
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2(矢板市生涯学習課内)
事業主体の概要	○団体の目的:市民一人一人が生きがいに満ちた豊かな人生を送るため、生涯にわたり自由に学ぶことができ、その学習の成果が地域社会で生かされることにより、市民一人一人が主体的に考え、行動し、互いに助け合える生涯学習社会の実現に寄与するため、「矢板市生涯学習フェスティバル」を開催する。 ○設立年月日:令和6年6月22日 ○構成員等:矢板市内の中学生、高校生、大学生、地域おこし協力隊員、NPO法人等
当該事業に係る地域の現状と課題	市内には小学校が6校、中学校が3校、高等学校が3校あり、その学習成果を地域社会で共有する機会が少ない。 また、地域イベントやまちおこしイベントの担い手の高齢化が進み、イベントの企画運営のノウハウが継続されていないため、人と人が交流する機会が減少してしまっている。
事業目的	子供から高齢者まで多世代の多様な人が様々な「体験」を通して交流し、「つながり」、こんなに面白いことができる「矢板」を「心から誇ろう!」と思えるような機会を創出し、一人ひとりが生きがいに満ちた生涯学習社会の実現を目指す。 さらに、経験豊富な市民団体や個人とのコラボレーションから新たな「つながり」や「まなび」を創出し、誰もが生涯にわたって学び、楽しめる「ふるさと矢板」づくりの実現を図る。
事業概要	「体験」と「つながり」をテーマとして、市内外の若者が企画・運営に主体的に参加し、多世代が交流する「生涯学習フェスティバル」をみんなで創り上げる。誰もが生きがいに満ちた豊かな人生を送り、生涯にわたり自由に学習機会を選択して学び、その学習の成果が地域で生かされる「生涯学習社会の実現」を目指す。 【令和7年度】 ○矢板市生涯学習フェスティバルの開催【I-a、I-d】 ・開催日 令和7年11月16日(日) ・開催場所 矢板市文化スポーツ複合施設 矢板市末広町49-1 ・内 容 市内小学校、中学校、高等学校等の児童生徒による学習成果の発表、体験・展示ブース 等 ○スピンオフ企画の実施【I-a、I-d】 ・トークイベント「夢中人」 令和7年7月19日(土) ・トーク&ライブ「夢中人2」 令和8年2月1日(日) ・アカデミアやいたし 令和7年5月22日(木)、令和8年2月12日(木) 【令和8年度以降】 ○矢板市生涯学習フェスティバルの開催及びスピンオフ企画の実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	目標:来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 数値目標:交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7) KPI:道の駅利用者数 122万人(R2)⇒129万人(R7) 目標:安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる 数値目標:地域活動への参加状況(%) 40.9(R1)⇒50.0(R7) KPI:市民協働のまちづくり事例数 10団体(H28～R2)⇒14団体(R3～R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)
	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		○「矢板市生涯学習フェスティバル」の開催 ・中・高校生の研究発表 ・書道、ピアノ、バイオリン、剣詩舞の発表 ・サイエンスショー、パラスポーツ、巨大ジェンガ等 ○スピンオフ企画の実施 ・留学のすすめ アカデ	○「矢板市生涯学習フェスティバル」の開催 ・中・高校生の研究発表 ・音楽、芸術等の発表 ・体験コーナー ○スピンオフ企画の実施 ・トークイベント「夢中人」・トーク&ライブ「夢中人2」 ・アカデミアやいたし		○「矢板市生涯学習フェスティバル」の開催 ・音楽、芸術等の発表 ・昔あそび、工作等、体験コーナー ○スピンオフ企画の実施 ・夢中人、アカデミアやいたし等
事業費		1,500,251	2,277,480	3,777,731	2,483,000
市町支出金 (ソフト事業分)		1,500,000	2,000,000	3,500,000	2,000,000
うち県交付金		628,737	919,000	1,547,737	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	251	277,480	277,731	483,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	生涯学習フェスティバル開催事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	2,000,000	市補助金
繰越金	37,991	繰越金
雑収入	1,641	利息等
協賛金	320,000	企業協賛金
計	2,359,632	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	1,106,600	1,106,000	553,000	600	講演会、体験ブース等講師謝金
消耗品費	166,105	166,000	66,000	105	事務用品代等
燃料費	12,474	12,000	0	474	ガソリン代
食糧費	254,839	0	0	254,839	スタッフ弁当等
印刷製本費	85,085	84,000	0	1,085	ポスター・チラシ等
保険料	22,717	22,000	0	717	イベント保険
手数料	1,980	0	0	1,980	会場イベント、会場警備等
委託料	11,000	10,000	0	1,000	けん玉加工委託料
使用料及び賃借料	616,680	600,000	300,000	16,680	会場使用料等
繰越金	82,152			82,152	
				0	
				0	
計	2,359,632	2,000,000	919,000	359,632	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	女性活躍推進事業
事業主体の名称	矢板市女性団体連絡協議会
代表者の名称	会長 中嶋 加代子
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2(矢板市生涯学習課内)
事業主体の概要	・団体の目的: 矢板市女性団体の相互理解と協力により、地域の共通課題に取組み、さらに人としての教養を高め、明るいまちづくりに貢献することを目的とする。 ・設立年月日: 昭和56年7月27日 ・構成員等: 矢板市内の女性団体(5団体)
当該事業に係る地域の現状と課題	市内の女性団体やボランティア団体の活動員の減少及び高齢化が進んでいる一方、令和5年6月にG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されたことを契機に、女性活躍推進の機運が高まっている。本市においても、令和5年3月に「矢板市女性議会」を開催し、新たな人材を発掘することができた。既存の団体に属さないが意欲と能力のある女性の活躍の場の提供と支援を行う。
事業目的	男女共同参画社会を実現するため、様々な地域活動の場で女性の参画が拡大し、女性が主要な担い手として活躍できるよう、参画に意欲のある女性の発掘・育成・支援活動や、女性が活動の中心的な役割を担う意義・重要性についての意識啓発活動等を実施することにより、市民一人ひとりが主体的に考え、行動し、互いに助け合える生涯学習社会の実現に寄与することを目的とする。
事業概要	地域おこしやまちづくりなどに興味・関心があり、「住みたい矢板市」のためのイベント等の企画・運営に積極的に参画する女性の人材の発掘・育成・支援活動を実施した。また、女性が活動の中心的な役割を担う意義・重要性についての意識啓発活動等を実施した。 【令和7年度】【I-a】 1 矢板市立図書館活性化事業・・・図書館の付加価値を高めるため、本の貸出だけでなく、人材の交流の場、育成の場、地域おこしの場となるよう、イベント等を女性の視点から企画・運営し、人材の発掘・育成を図った。 ・Enjoy English Day!の開催 幼少～小学生の親子を対象 R7.6.14(土)50人、R7.11.29(土)42人、R8.3.21(土)55人 2 みんなに優しい避難所運営事業・・・矢板市HUG(避難所運営ゲーム)体験教室の開催 R7.8.8(金)38人 3 親子体験教室開催・・・市内の親子を対象に矢板産の農産物を活用した「味噌づくり」体験教室を開催した。企画・運営・講師等を女性が実施し、イベントにおける主要な担い手となるよう育成する。R8.2.14(土)47人 4 不登校勉強会・・・学校に行かない、行けない子供たちに安心できる遊び場や居場所を作るため勉強会を開催 R7.5.23(金)47人 【令和8年度以降】
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	目標: 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 数値目標: 純移動数(人) -115(R2)⇒±0(R7) KPI: 道の駅利用者数 122万人(R2)⇒129万人(R7) 目標: 安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる 数値目標: 住みよさに対する満足度(%) 59.8(R1)⇒70.0(R7) KPI: 市民協働のまちづくり事例数 10団体(H28～R2)⇒14団体(R3～R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位: 円)

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		女性活躍推進事業 ○図書館活性化事業 ○みんなに優しい避難 所運営事業 ○親子体験教室開催 ○不登校勉強会	女性活躍推進事業 ○図書館活性化事業 ○みんなに優しい避難 所運営事業 ○親子体験教室開催 ○不登校勉強会		女性活躍推進事業 ○図書館活性化事業 ○みんなに優しい避難 所運営事業 ○親子体験教室開催
事業費		236,165	254,198	490,363	205,000
市町支出金 (ソフト事業分)		180,000	180,000	360,000	180,000
うち県交付金		90,000	90,000	180,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	56,165	74,198	130,363	25,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	女性活躍推進事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	180,000	市補助金
繰越金	24,400	前年度繰越金
雑収入	86,826	けんちん汁売上、体験教室参加費、預金利子等
計	291,226	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	56,000	56,000	28,000	0	研修会及びイベント講師謝金
交際費	0	0	0	0	賀詞交歓会参加費
消耗品費	103,886	102,000	51,000	1,886	体験教室用品代等
燃料費	15,402	14,000	7,000	1,402	視察研修の燃料費
食糧費	13,060	0	0	13,060	体験教室スタッフ用昼食代
保険料	3,000	0	0	3,000	イベント保険
使用料及び賃借料	62,850	8,000	4,000	54,850	視察研修の際の高速料金 体験教室施設使用料
繰越金	37,028			37,028	
				0	
				0	
計	291,226	180,000	90,000	111,226	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	スポーツフェスティバル開催事業
事業主体の名称	矢板市スポーツフェスティバル実行委員会
代表者の名称	会長 森島 幸男
事業主体の所在	〒329-2165 矢板市矢板106-2
事業主体の概要	・団体の目的:スポーツの普及振興のため、幼年から高齢者、障がい者など多様な主体の参加により、人の交流を育み、新たなコミュニティ形成を図るとともに、子どもや未経験者でも気軽に楽しめるよう市スポーツ協会加盟団体の競技を体験型の実施や、日頃の活動内容やスポーツ教室の開催状況等を紹介するとともに、多くの市民にスポーツの楽しさを知ってもらい、共に活動できる環境を提供することを目的とする。 ・設立年月:令和6年8月 ・構成員等:矢板市スポーツ協会・矢板市スポーツ推進委員会・矢板市レクリエーション協会他
当該事業に係る地域の現状と課題	矢板市においては、スポーツによるまちづくりを目標にスポーツコミッションを立ち上げ、交流人口・関係人口の増を目指すため、令和6年4月1日に矢板市文化スポーツ複合施設を設置・開場し、施設を中心とするハード面の整備が整った状況であるが、少子高齢化や若者世代の進学・就職に伴う転出などにより、転出超過に歯止めが利かない現状があり、スポーツに関わる市民が減少している状況が大きな課題となっている。
事業目的	スポーツによるまちづくりをさらに加速させるため、市では各種スポーツや健康に関する事業に取り組んでおり周知等を行っているが、スポーツに触れ合う機会が少なく、関わり方がわからない市民が多くあるため、気軽に触れ合える場を提供し、レクリエーション感覚でスポーツを行い、また、それが健康につながっていくことを理解いただく場を提供する。併せて、スポーツは自分で行うだけでなく、見ることやボランティアで関わるができることも周知し、スポーツが身近に感じられる場を提供するとともに、地域では唯一である最新の体組成計を備える施設において、近隣市町をはじめとするスポーツ・健康に関する交流人口を増加させるとともに経済波及効果を生み出すことを目的とする。
事業概要	【令和7年度】【Iーa、Iーd】 スポーツフェスティバルを開催し、下記事業を実施した。 開催日:令和7年10月11日、開催場所:矢板市文化スポーツ複合施設、とちぎフットボールセンター 合計延べ参加人数:1,043人 ①市スポーツ協会加盟団体による体験型スポーツの実施 ②市スポーツ教室の周知 ③ニュースポーツの体験 ④マルシェの開催 ⑤eスポーツの開催 上記事業及び最新設備の体組成計の体験等を実施することで、市文化スポーツ複合施設を中心に関係人口・交流人口の増加を図った。 【令和8年度以降】 スポーツフェスティバルの開催
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる 【数値目標】 交流人口数:1,879,864人(R2)→2,000,000人(R7) 【KPI】スポーツ交流人口:170,763人(R2)→250,000人(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)	
	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容		①市スポーツ協会加盟 団体による体験型ス ポーツの実施 ②市スポーツ教室の周 知 ③ニュースポーツの体 験 ④マルシェの開催 ⑤スポーツ関係講演会 の実施	①市スポーツ協会加盟 団体による体験型ス ポーツの実施 ②市スポーツ教室の周 知 ③ニュースポーツの体 験 ④マルシェの開催 ⑤eスポーツの開催		①市スポーツ協会加盟 団体による体験型ス ポーツの実施 ②市スポーツ教室の周 知 ③ニュースポーツの体 験 ④マルシェの開催 ⑤eスポーツの開催	
事業費		2,000,258	1,389,352	3,389,610	2,000,000	
市町支出金 (ソフト事業分)		2,000,000	1,389,352	3,389,352	1,500,000	
うち県交付金		500,000	672,391	1,172,391		
市町支出金 (ハード事業分)				0		
うち県交付金				0		
その他自主財源等	0	258	0	258	500,000	

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	スポーツフェスティバル開催事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	1,500,000	矢板市補助金
繰越金	269,809	前年度繰越金
出展料	0	
賛助金	0	
雑収入	1,277	預金利子等
計	1,771,086	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	350,000	350,000	175,000	0	謝金・参加ノベルティ等
消耗品費	90,442	90,442	22,936	0	チラシ代、イベント物品、事務用品
印刷製本費	0	0	0	0	ポスター、チラシ等
保険料	14,778	14,778	7,389	0	イベント保険
手数料	1,540	1,540	770	0	振込手数料
委託料	704,000	704,000	352,000	0	イベント業務出店委託料
使用料及び賃借料	228,600	228,600	114,300	0	イベント物品賃借料
繰越金	381,726	110,640		271,086	
				0	
計	1,771,086	1,500,000	672,395	271,086	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合